

新庁舎建設かわら版 ～第15号～

新庁舎建設基本設計市民ワークショップを開催

市では現在、新庁舎の整備条件をまとめる「基本設計」を進めています。

新庁舎の基本方針の一つである【市民に親しまれる庁舎】の建設に向けて、市民や来庁者が利用する空間について市民のアイデアをお聞きし、基本設計に生かすため、市民ワークショップを開催しています(全4回)。

ワークショップとは 様々な意見を持った参加者が、グループに分かれてお互いの意見を出し合い、少数意見も尊重しながらグループの意見をまとめていく、話し合いの手法

第1回市民ワークショップは、5月13日(土曜日)に、総合福祉会館3階集会室にて開催しました。

冒頭に、浅野市長から「本庁舎は、各務原市のシンボルであり、かつ防災拠点として、とても重要な役割があります。多くのご意見をいただき、防災拠点はもちろん、市民の皆さんに愛され、親しまれる庁舎、気軽にお越しいただける庁舎をめざします。」とあいさつがあり、その後、公募の市民、市内の団体等から推薦された市民の21名と、新庁舎設計者が3つの班に分かれて、意見交換を行いました。



第1回市民ワークショップのテーマ

- ①「各務原らしさ」とは
- ②「各務原らしさ」を新庁舎にどう取り入れたいか



意見交換では、各テーマについて参加者が付箋に書き込み、それぞれ班の中で発表しながら、意見をまとめて大きな紙の上に貼り付けしていきました。

最後に、班の代表者が発表し、全員で内容を確認しました。

参加者からは、「意外と難しいテーマであったが、各務原らしさに改めて気づくことができた。各務原らしさが取り入れられ、市民に愛される新庁舎を建設してほしい。」などの感想がありました。

今後、市民ワークショップやパブリックコメント(意見募集)などを通して、市民の皆さんのご意見をお聴きしながら、基本設計を進め、平成29年度中に基本設計を策定します。

それぞれのテーマにおける主な意見は裏面をご覧ください

テーマ①『各務原らしさとは』の主な意見

産業(農業含む)

- ・航空機産業が盛ん
- ・川崎重工
- ・自衛隊基地の街(騒音もある)
- ・にんじんやキムチが名産
- ・中小製造業が多く働き口が多い

歴史

- ・村国座や子供歌舞伎、貞奴
- ・中山道の宿場町(鶉沼宿)
- ・神話がある
- ・那加音頭などがある
- ・炉畑遺跡や古墳がある
- ・手力雄神社(信長)

街づくり(街の姿)

- ・にんじんやキムチ
- ・名古屋のベッドタウン
- ・人口が偏っている
- ・五町合併のため、祭りがバラバラ
- ・芸術やホッケー
- ・基地により南北が分断されている
- ・人にやさしく未来創造できる街

自然

- ・東西に長く、美しい山と川
- ・各務原台地(岩盤の上)
- ・災害が少ない
- ・公園、緑が多い(桜、メタセコイヤ)
- ・水がおいしい(地下水が豊富)

交通

- ・名鉄線とJRがある
- ・国道が市を横断しており交通の便が良い
- ・駐車場が多い
- ・高速道路のICがある

教育・スポーツ

- ・ホッケーが盛ん
- ・市内に2つ大学がある
- ・学校が多い

テーマ②『各務原らしさを新庁舎にどう取り入れたいか』の主な意見

内部空間

- ・ロビーで各務原のおいしい地下水が飲める
- ・レストランは議会付近に配置
- ・ユニバーサルデザインの空間に
- ・男子トイレにもベビーチェアを設置して育児参加
- ・木材を使用した内装
- ・航空機の素材やコックピットのような内装
- ・基地が眺められるサロン
- ・授乳室やキッズスペースの充実
- ・利用者の動線に配慮
- ・窓口が分かりやすいこと(特に福祉や子育て)
- ・若者が利用できる学習室
- ・中庭を設けるなど、明るさに工夫がほしい

外装

- ・飛行機型の建物や航空機の素材をどこかに使う
- ・空からの景観に配慮したデザイン
- ・屋上を開放して飛行機を見せる
- ・にんじんや桜の色を使って暗いイメージを払拭
- ・外壁をスクリーンにして情報案内やホッケーのパブリックビューイング
- ・ホッケーPRのぼりなど
- ・市内5カ所の金幣社(神社)のイメージ
- ・鶉沼宿のような和風屋根のイメージ
- ・公園のような自然感のある庁舎
- ・1/1スケールの飛行機の模型

外構

- ・中山道沿いを活かす(街並みをイメージするなど)
- ・桜をイメージしたデザイン(百十郎桜)
- ・桜並木
- ・屋上ビアガーデン
- ・駐車場の出入りに工夫が欲しい
- ・広いイベントスペース
- ・防災拠点に対応した多目的ひろば
- ・駐車場が広くほしい
- ・イベント市場が出来るスペース

その他

- ・外国人や業者さんなど交流拠点空間が欲しい
- ・ロビーに観光案内や特産品PR、販売所
- ・地下避難施設
- ・シンボリックにして欲しい
- ・庁舎づくり=街づくり
- ・未来に語れる・誇れる庁舎
- ・宿場街のまつりを中心に
- ・街の中心として誇れる存在感
- ・駅との関連性や周辺商店街を活かして欲しい
- ・屋上ヘリポート(災害対策・市内を空から観覧)
- ・産業・農業を育てる場

生涯学習まちづくり出前講座「新庁舎建設事業について」

生涯学習まちづくり出前講座「新庁舎建設事業について」では、市民の皆さんに愛され、使いやすい新庁舎をみんなで考えることを目的としています。

これまで、受講された方から「誰でも使いやすい庁舎に」、「お茶を飲みながら少し休憩できる場所があるといい」など、様々なご意見をいただいています。

生涯学習まちづくり出前講座の趣旨や制度上、申込みが出来ない場合もありますので、申込み方法など詳しくは、いきいき楽習課(058-383-1210)までお問い合わせください。

お問い合わせ先

各務原市 企画総務部 管財課 庁舎等建設係
電話:058-383-1619(直通)

市ウェブサイト: <http://www.city.kakamigahara.lg.jp/>

(平成29年6月発行)